



ICER 2020

九州大学附属図書館付設教材開発センター年報

目次

はじめに	03
組織図	04
部門紹介	05
メンバー	06
研究紹介	08
プロジェクト紹介	22
MOOC 大規模公開オンライン講座	23
代表的研究者紹介ビデオ制作	25
文学部日本史学 宮中儀礼を対象とした教材開発	26
放射線治療のためのセットアップトレーニング支援システムの開発	27
歯科治療 歯学部歯学科目を対象とした教材開発	28
環境保全行動 学習ゲーム教材	29
その他 教材開発の取り組み	30
活動紹介	32
講義動画等の撮影・編集・公開	33
FD講習会開催	39
教材開発支援機材	40
学会・イベント等	42
刊行物	46

はじめに

教材開発センター長

岡田義広



2020年度は2011年4月に教材開発センターが設置されて10年目の節目となります。2014年度まで4年間センター長としてご尽力いただきました藤村直美先生からセンター長を引き継ぎ6年目の年となりました。教員は、一昨年度着任されました大井京准教授、芳賀瑛助教、2017年度に着任されました石偉助教と私の教授1名、准教授1名、助教2名の体制です。テクニカルスタッフにつきましては、一昨年度着任されました田中啓太さん、昨年度着任されました竹原憲一郎さんと木佐貫浩司さんの合計3名の体制です。事務につきましては、一昨年度着任されました山内聡子さんに事務補佐員として支援をいただいております。協力教員につきましては、前年度のすべての協力教員の皆さまに引き続きご就任いただきました。このような体制で本センターの業務を遂行して参りました。

教材開発センターの主な業務は、講義ビデオの撮影・編集・公開、MOOC(MassiveOpenOnlineCourse)の制作、本学代表的研究者紹介ビデオ(旧森の映画館(動画版「先生の森」)現九大百家)の制作、ICTを活用した電子副教材の開発およびその支援、著作権等電子教材の開発に係る各種講習会の実施です。今年度はコロナ禍で、緊急事態宣言が発出された4月は外出自粛のため授業が行われず、緊急事態宣言が解除された5月から三密を避けるためオンライン授業のみの実施となりました。各種講習会はオンラインで行われることが多く、ライブ配信の支援を行う機会が多くありました。また、例年8月に集中するオープンキャンパスイベントも

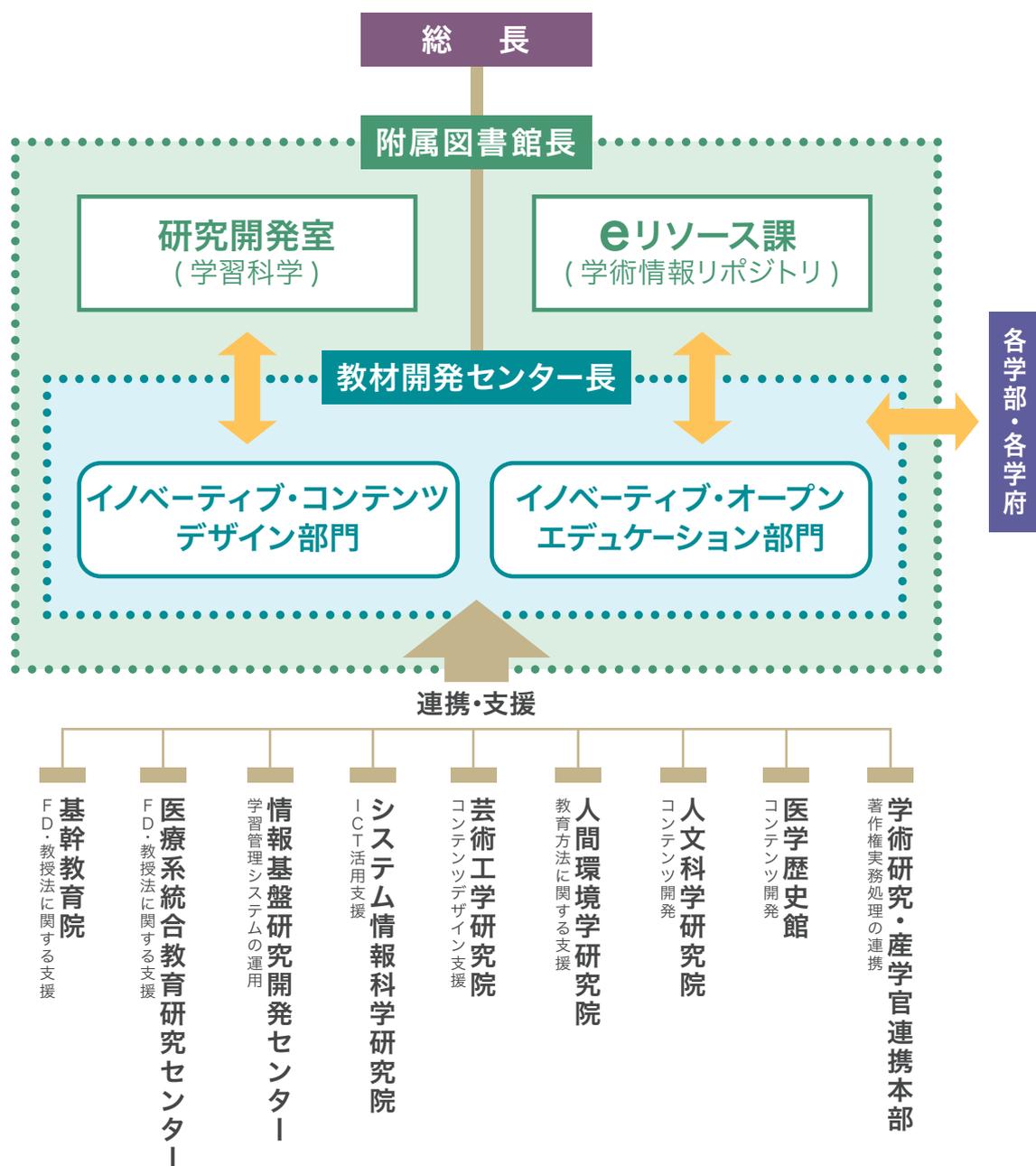
オンラインでの開催となり、各部局から学部・学科等紹介ビデオ制作の依頼が数多くありました。7年目となるMOOC制作では、「気候変動と大気汚染の入門」(応用力学研究所・竹村俊彦主幹教授)を2021年1月13日～2月10日にJMOOCから開講しました。受講者数は614名で、うち修了者数は310名で修了率は50.5%という非常にすばらしい結果となりました。また、5年目となる本学代表的研究者紹介ビデオの制作は、毎月2～3件の公開を目標に実施して参りましたが、昨年度後期から第二期の取組みを開始し、昨年度末にはすでに多くの代表的研究者の撮影が終了しております。今年度は編集に注力し広報室と企画しながら順次公開して参りました。さらに、ICT活用電子副教材の開発では、前年度に引き続き日本史学「宮中儀礼(除目)」の対話型ウェブ教材の開発、放射線治療装置操作トレーニング教材の開発等を継続実施しました。昨年度開始した決断科学大学院プログラム学生・教員との協働による環境保全行動学習理解のためのゲーム教材の開発については、日本語・英語のウェブ版を開発し公開しました。

昨年度から「電子教材に係るニーズ調査」を定期的に行っています。学内の先生方から電子教材の開発に係るご要望をお聞きし、本センターで対応可能なものについてご支援させていただいております。

今後も、学内の各種センター・部局等との連携を深め、学外の動向等も調査しながら、本学の学習環境の向上を目指して活動してまいりますので、引き続きご理解ご協力を賜れましたら幸いです。

組織図

ICER 九州大学附属図書館付設教材開発センター年報 Innovation Center for Educational Resource

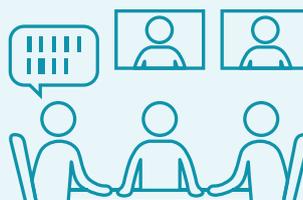


部門紹介

イノベティブ・オープン・エデュケーション部門

知の公共化による自律的な学習者を養成する教育方法と電子教材の開発

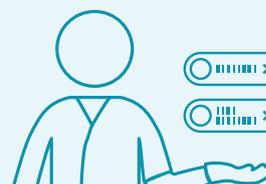
- 講義等ビデオ教材、代表的研究者紹介ビデオ、MOOCの制作
- インストラクショナルデザインに基づく教育方法、電子教材の開発
- 多彩なチャンネルによるビデオ等教材の公開
OCW、YouTube、iTunesPodcast、QIR、研究情報システムなど
- 著作権に関する電子教材開発者向け講習会等の開催



イノベティブ・コンテンツ・デザイン部門

最新ICTを活用した魅力ある電子教材の提供と開発支援

- 対話型3次元マルチメディアや競争原理(ゲーム性)の活用
- スマートデバイスやデジタル放送等の新技術に対応する教材の開発
- コンテンツの再利用と再編集を可能とする基盤技術の研究開発
- 高大連携による対話型電子教材の開発とその支援



メンバー

専任教員

教授	岡田 義広	センター長 / システム情報科学府担当
准教授	大井 京	
助教	芳賀 瑛	
	石 偉	

協力教員

協力教員	坂上 康俊	人文科学研究院 教授
	三木 洋一郎	基幹教育院 教授
	築山 能大	歯学研究院 教授
	金 大雄	芸術工学研究院 教授
	松隈 浩之	芸術工学研究院 准教授
	池田 大輔	システム情報科学研究院 准教授
	金子 晃介	サイバーセキュリティセンター 准教授
	麻生 典	芸術工学研究院 准教授
	菊川 誠	医学研究院 講師

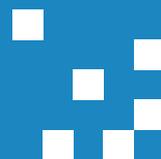
運営委員

委員長	岡田 義広	教材開発センター長
委員	宮本 一夫	附属図書館長
	大井 京	教材開発センター 准教授
	三木 洋一郎	協力教員 / 基幹教育院 教授
	川原 弘一	学務部長
	瓜生照久	附属図書館事務部長



研究紹介





活動概要

「3次元グラフィックス応用ソフトウェアに関する研究」

ソフトウェア部品の再利用性を高め、アプリケーションソフトウェアの開発コストを下げるためには、どのようなコンポーネントをどのようなフレームワークで結びつけばよいかというソフトウェアアーキテクチャーの研究を行っています。特に3次元CGアプリケーション開発支援のためのソフトウェアアーキテクチャーの研究を行っています。また、専門の知識のない人にも使える人にやさしいインタフェースをもつ計算機をつくりたいと考えています。ソフトウェアアーキテクチャーの側面から研究・開発を行っています。さらに、インターネット

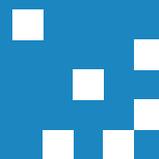
の普及により、時間や場所に制限されることなく、種々の情報を容易にやり取りできるようになりました。計算機により支援される種々の知的作業を複数の人で協調して行える環境をつくりたいと考えています。最近では、ビデオゲームの開発支援環境やデジタルTVのデータ放送コンテンツ開発、教育用コンテンツ開発と学習者ログデータ可視化、および博物館におけるデータ提示技術やVR(Virtual Reality)/AR(Augmented Reality)の応用システムに関する研究開発を行っています。

theme

3次元グラフィックス応用ソフトウェアに関する研究

keyword

ソフトウェア部品化,分散システム,ヒューマンインタフェース,コンピュータアニメーション,情報可視化



活動概要

「ICT 教育・学習と言語・非言語コミュニケーションの認知メカニズムに関する研究」

ICT(Information and Communication Technology) を利用した教育を対象として、教材と教育技術の開発、効果検証、および改善という実践と、その認知メカニズムの解明という基礎研究の両側面について、脳活動測定を含めた実験心理学の手法と、学習ログの分析等のラーニング・アナリティクスを活用した研究を行っています。最近では、大規模な公開オンライン講座である MOOC(Massive

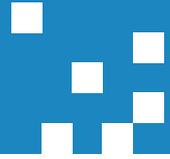
Open Online Course) における講義動画の学習に関する認知メカニズムと教材改善の研究を行っています。また、言語・非言語コミュニケーションの認知メカニズムについても、二言語併用やジェスチャーの機能などに注目して研究を続けています。近年では特に、第二言語の運用と学習においてジェスチャーが果たす機能とその神経基盤に関する研究を行っています。

theme

学習ログと脳活動分析に基づく効果的な学習フィードバック方法の開発
ジェスチャーによる発話の促進効果とその神経機構
日本語と中国語の二言語併用者における言語間の干渉を低減する脳基盤の解明

keyword

ラーニング・アナリティクス, 教育・学習における ICT 活用, ジェスチャー, 二言語併用, 神経基盤



活動概要

「センシング技術を用いた学習『過程』の定量化、及び AI による学習行動の解析」

先端のセンシングデバイスを活用し、学習者の生体情報や多様な学習ログを基に学習の過程における行動の分析、および結果を蓄積、フィードバックする学習支援システムの開発研究を行っています。「アクティブラーニング」をはじめとする新しい教育手法の効果の検証においては、成果物などのアウトプットだけではなく、学習過程における学習者の内面の変化を定量的、かつ自動的に評価することが重要です。学習過程を評価する有効なツールとし

てセンシング、AI(機械学習)、に着目しており、評価の指標となる特徴量の抽出や、自動評価システムを開発することで、次世代の教育環境の構築に貢献したいと考えています。

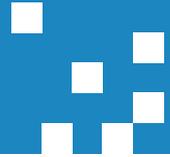
近年では特に、機械学習をはじめとする AI による学習の評価と、実際の教員による評価との差異について関心を持っています。また、VR を活用した教材開発、学習の可視化についても研究を行っています。

theme

視線情報と機体操作ログに基づく VR フライトシミュレーション評価システムの開発
360 度カメラを使用したグループワーク評価支援システムの開発
生体情報を活用した技能習熟支援システムの開発

keyword

学習過程の解析, AI による学習評価, 生体情報計測, ラーニング・アナリティクス



活動概要

「ICT 技術を用い電子教材の開発とユーザの学習活動の分析に関する研究」

ユーザの興味を向上すると教育コンテンツを理解しやすくするために、ICT (Information and Communication Technology) 技術を用い、電子教材の開発と評価に関する研究を行っています。主に、Linked Dataを活用し、2Dと3Dグラフィック技術と360度カメラなど先端デバイスを用いたVR (Virtual Reality) とAR (Augmented Reality) のウェブ教材の開発を進んでいます。共に、電子

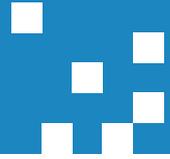
教材の開発効率を向上するために、新たな電子教材開発フレームワークも提案と評価に関する研究も行っています。さらに、作成した教材を使用される時に、ユーザの学習活動データを収集し、ディープラーニング技術で可視化分析します。分析結果に基づき、電子教材を改良する研究も行っています。ほかに、学習効果を検証するための新たなクイズ生成できるフレームワークの提案と評価も行っています。

theme

ICT 技術を用い電子教材の開発とユーザの学習活動の分析に関する研究

keyword

E-learning, ラーニング・アナリティクス, ヒューマンインタフェース, コンピュータアニメーション, 情報可視化



活動概要

律令国家の成立・展開と中世国家への変容過程を、中国史や考古学の成果を取り込みながら追究している。また、教材開発センターの一員として、

故実書に記された官奏や除目等の儀式の動画化を進めている。

theme

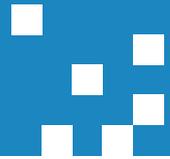
「元岡G 6号墳出土庚寅年銘鉄刀製作の背景」
「日唐の格法典の編纂と体裁の特徴」
「入唐僧と刺史の印信」
「古代末期福岡平野における集落の変貌」

keyword

庚寅年銘鉄刀, 律令制, 敦煌・吐魯番文書, 儀式, 集落遺跡, 歴史資源情報可視化

み き よう い ち ろ う
三木 洋一郎

基幹教育院・教授



活動概要

PBL (Problem-/Project-Based Learning) や TBL (Team-Based Learning) などのアクティブ・ラーニングの手法を応用した、より効果的な教育方略の開発と、信頼性のあるアウトカム評価法の開発に取り組んでいます。また、これらに基づいて実際の授業科目を設計・実践しながら、改善を試み

ています。特に、現在、共創学部先生方と協力して「協働科目」を中心に据えた"共創的課題解決力を育成する教育モデル"の開発に取り組んでいます。基幹教育院・次世代型大学教育開発センターのメンバーとして、ファカルティ・ディベロップメントの企画開発と実践を行っています。

theme

多文化的・学際的協働教育の教育方法論の構築

keyword

協働学習, 多文化的, 学際的
2020.04 ~ 2024.03.

theme

共創的課題解決力を育成する教育モデルの開発と、それに基づく優れた教育実践の蓄積と活用

keyword

協働学習, 課題解決力, 教育モデル
2019.04 ~ 2022.03.

theme

課題探究・解決型協同学習プログラムの開発

keyword

協働学習, チーム基盤型学習法, TBL, PBL, ICT
2017.04 ~ 2021.03.

theme

チーム基盤型学習法のアクティブ・ラーナー育成に対する効果検証

keyword

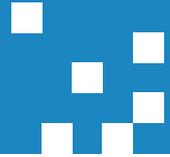
チーム基盤型学習法, TBL, アクティブ・ラーニング, ピア評価
2016.04 ~ 2019.03.

theme

体系的なアウトカムベース教育プログラムの開発

keyword

アクティブ・ラーニング, チーム基盤型学習法, TBL, ICT
2013.01 ~ 2017.12.



活動概要

1987年に九州大学歯学部卒業以来、補綴歯科、口腔顔面痛・顎関節症ほかの歯科臨床活動に従事してきました。これまでに、日本補綴歯科学会、国際疼痛学会 (IASP) の Orofacial Pain Special Interest Group (OFP SIG)、International RDC/TMD Consortium Network (Secretary、2012年9月～2015年3月)等の活動、日本顎関節学会の病態分類委員会等に参画し、国内外において補綴歯科治療、顎関節症・口腔顔面痛に関する診療ガイドライン策定等にも貢献してきました。2017年4月、九州大学大学院歯学研究院歯科医学教育学分野に異動し、歯学部における卒前

教育において、課題解決型学習 (Problem based learning, PBL) やチーム基盤学習 (Team based learning, TBL) を駆使した統合型授業を積極的に展開しています。また、日本歯科医学教育学会の国際化推進委員会委員として、歯学教育の国際化、標準化に取り組んでいます。現在、日本口腔顔面痛学会が国際疼痛学会 (IASP) の支援を受け、IASP 教育システム開発プロジェクトチームの一員として、“Construction of a Learning Management System for Orofacial Pain” のテーマで、eラーニングを軸とした教育システムの開発に参画しています。

theme

Construction of a Learning Management System for Orofacial Pain

keyword

e-learning, virtual patient, diagnostic skills, learning management system
2019.10～2022.05.

theme

補綴治療による咀嚼機能の改善を科学的に測る：咀嚼側に着目した咀嚼機能の包括的解析

keyword

咀嚼, 補綴治療, 咀嚼側, 咀嚼機能
2016.04～2022.03.

theme

口腔顔面痛の評価・管理における身体心理社会モデルの適用と有用性へのチャレンジ

keyword

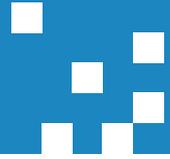
口腔顔面痛, 心理社会的因子, 身体心理社会モデル
2016.06～2021.03.

theme

顎関節症およびブラキシズムに対するスプリント治療のランダム化比較試験 (RCT)

keyword

顎関節症, ブラキシズム, スプリント治療, ランダム化比較試験, RCT
2009.04～2016.03.



活動概要

デジタルコンテンツ制作の分野は、CG、映像、WEB、デジタルアーカイブなど、複合的な表現領域であるため、幅広い分野に精通することが求められます。コンテンツデザインラボでは、多彩なデジタルコンテンツの生成や表現手法、及びその問題点

を調べてデジタルメディア表現の可能性を追求しています。また、それだけでなく、現在ある社会的なニーズを的確に捉え、それを満たすことができる包括的なデジタルコンテンツの設計を実践していくことを研究の中心に据えています。

theme _____

全周スクリーンを用いた新たな体感型映像コンテンツの提案

keyword _____

360度, 実写映像, パノラマスクリーン

theme _____

歴史系博物館におけるゲーム性を取り入れた参加型展示支援システム

keyword _____

ミュージアムコンテンツデザイン

theme _____

ミュージアムシアター子ども視聴用における S3DCG の安全性を考慮した映像コンテンツ制作に関する研究

keyword _____

立体映像

theme _____

特別支援教育におけるデジタルコンテンツデザイン

keyword _____

特別支援教育, デジタルコンテンツ

theme _____

デジタルアーカイブを基盤とした世界遺産ガイドシステムの開発

keyword _____

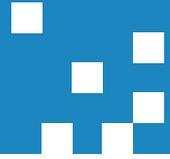
デジタルアーカイブ, 世界遺産

theme _____

シミュレーション映像を用いた新たな防災教育コンテンツの開発

keyword _____

シミュレーション, 防災教育コンテンツ



活動概要

「リハビリ・ヘルスケアを目的としたシリアスゲームデザイン研究」

社会問題の解決を目的に据えたデジタルゲームである、シリアスゲームに関する研究、制作を行っています。近年は主なテーマを医療・健康としており、高齢者のリハビリテーションや、発達障がい児の自立活動を支援するゲームについて、現場の医療スタッフや小中学校の先生と共同で制作、検証活動を続けています。また 2020 年から九州大学にて起立 - 着席運動支援 iPhone アプリ『リハビリウム起

立の森』の配信を開始しました。

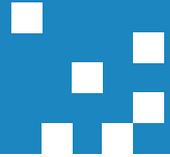
その他、デジタルコンテンツの構成要素である映像、アニメーションも活動領域としており、主催する国際アートコンペティション「アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA」をとおして、発表の場の創出、クリエイター育成をおこない、コンテンツ分野のさらなる発展に寄与しています。

theme

シリアスゲームデザインに関する研究 (SGP : シリアスゲームプロジェクト)

keyword

シリアスゲーム, ゲームフィケーション, リハビリ, ヘルスケア, 教育
2008~2020



活動概要

研究活動として、データの利活用を促進するという観点から、大きくわけて **1. 様々なデータを解析して利活用を促進する、2. データの共有や保存、解析しやすいデータベースの基盤を構築する**、の2つの研究を行っています。最近流行のサービスで例えば、Twitter のようなサービスに必要な機能を検証したり、実際にシステム構築を行ったりするのが後者で、Twitter でのつぶやきや follower の関係を解析し、有用な知識を抽出するのが前者です。前者の研究で、主に対象としているデータは、Web 上のテキストデータ、時系列データ（主に地球磁場に関するデータ）、サービスの利用ログ、ソーシャルグラフなどです。後者の研究は、主に、SNS をベースにした情報共有システムやその基盤技術（検索やデータベース）の構築、認証や認可に

関する理論的研究、（学術情報という観点から）機関リポジトリや電子図書館構築に関する研究を行っています。教育活動として、大学院システム情報科学府、理学部物理学科情報理学コース、工学部電気情報工学科の担当をしています。特に、人数の少ない情報理学コースでは、トランプを使ったアルゴリズムに関する講義（物理学科コアセミナー）を始め、一方向ではなく、学生さんが実際に手を動かし、体感できるような授業を目指しています。例えば、「データ科学」（前期水曜1限）では扇風機とストロボを使った回転数の測定の実習を通して、情報理論で重要なサンプリング定理を学びます。「データベース・情報検索」（後期水曜3限）では、スキーマの設計や検索アルゴリズムのアイデアを出して、自分たちで議論します。

theme

学術情報流通基盤としてのデータリポジトリに関する研究

keyword

データリポジトリ、機関リポジトリ、オープンサイエンス、オープンデータ

2013.01.

theme

データ科学的手法による科学的知見の発見

keyword

科学データ、機械学習、時系列データ

2010.01.

theme

Web マイニング

keyword

半構造化データ、ブログ、マイクロブログ、コミュニティ

1999.01.

theme

機関リポジトリに関する研究

keyword

機関リポジトリ、学術コンテンツ流通、教育研究支援基盤

2007.04.

theme

例外文字列発見に関する研究

keyword

例外パターン、スパム検出、ゲノム配列

2007.04.

theme

認証認可システムに関する研究

keyword

認証、認可、プライバシー保護、IC カード、導入コスト

2008.04 ~ 2011.03.

theme

電子図書館に関する研究

keyword

電子図書館、自動認識技術、RFID、利用者カード、プライバシー保護

2005.05 ~ 2008.03.

theme

文字列上の頻出パターンマイニング

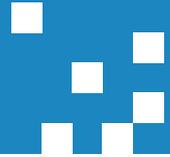
keyword

文字列、部分文字列増幅法、ベキ分布、ジップの法則、スパム検出

2001.03 ~ 2013.01.

か ね こ こう す け
金子 晃介

サイバーセキュリティセンター・准教授



活動概要

1. サイバーセキュリティセンターにおける研究・

教育活動：安全なIoT空間を実現するセキュリティフレームワークの研究開発及びそのフレームワークを利用したアプリケーションの研究開発を行なっている。特にブロックチェーンの技術を利用したアプリケーションの開発に注力している。また、教育活動として、セキュリティを考慮して、ものづくりができる人材の育成を行なっている。

2. 大学運営に関わる活動：九州大学 CSIRT (Computer Security Incident Response Team) として、九州大学のサイバーセキュリティ対策業務に従事している。特に、九州大学の構成員（教職員）を対象としたセキュリティ教育に従事している。

3. 附属図書館（兼任）における研究・教育活動：

ICTを活用した学習支援環境の構築及びラーニングアナリティクスによるインストラクショナルデザインの研究等の業務を遂行している。

4. ものづくり人材の育成活動：デジタルファブリケーション、メディアアート、ビデオゲームなどのアナログとデジタルを融合したものづくり教育を学内・学外の大学で実践している。また、企業と連携して、学内でのハッカソンなどを開催し、学生のものづくりを支援する教育活動を行なっている。

5. その他の社会貢献活動：国内・国外の開発者コミュニティを運営し、ものづくり人材の育成に貢献している。

theme

安全なIoTセキュリティフレームワークの研究開発

keyword

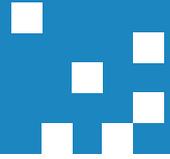
IoT, サイバーセキュリティ, ブロックチェーン

theme

ICTを活用した学習支援環境の研究開発

keyword

デジタル教材, インタラクティブ教材, ラーニングアナリティクス



活動概要

知的財産法を研究しています。現在までの主たるテーマは先使用権制度でしたが、現在は知的財産と占有に興味を持って研究しています。

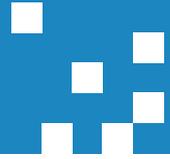
また、デザイン保護法制の国際的調和の研究にも取り組んでいます。

theme

知的財産法

keyword

知的財産 先使用権 占有 デザイン 国際的調和
2014.04 ~ 2025.03.



活動概要

指導医養成、医療コミュニケーション教育、医学教育研究（指導医評価研究）、臨床推論教育、身体

診察教育、医学教育マネジメント

theme

EPAを基盤とした若手指導医養成プログラム開発研究
2017.04～2021.03, 代表者：菊川誠, 九州大学.
優れた臨床指導医の形成プロセス解明に関する探索的研究

keyword

指導医, 教育, 研修医, ファカルティーデベロップメント
2015.04～2017.03.

theme

初期臨床研修医の指導医評価表記入における評価プロセスに関する研究

keyword

評価プロセス, 指導医評価, 臨床指導医, 研修医
2014.04～2016.03.

theme

臨床指導医評価表(案)の信頼性及び構成概念妥当性の検証に関する研究

keyword

指導医評価, 日本, 信頼性, 構成概念妥当性
2013.06～2016.03.

theme

指導医評価表作成に関する研究

keyword

指導医, 評価, 研修医, Modified Delphi, face validity, 信頼性
2010.02～2013.02.

theme

優れた指導医の研修医への影響に関する研究

keyword

指導医, 研修医, 影響
2009.04～2012.03.

theme

良き臨床指導医の特徴に関する研究

keyword

指導医, 教育, 研修医, ファカルティーデベロップメント
2009.04～2012.03.

プロジェクト紹介

MOOC

大規模公開オンライン講座

教材開発センターでは、平成26年度よりMOOC (Massive Open Online Courses 大規模公開オンライン講座)の制作と開講の取り組みを開始し、本年度までに再開講の講座を含め8講座を開講しています。

教材開発センターで開講したMOOC講座一覧

2014	溝口孝司 先生 / ClaireSmith 先生 比較社会文化研究院・教授		Global Social Archaeology グローバル社会考古学
2015	岡村耕二 先生 サイバーセキュリティセンター長・教授		個人と組織のための最先端 サイバーセキュリティ入門
	溝口孝司 先生 / ClaireSmith 先生 比較社会文化研究院・教授		Global Social Archaeology: expanded edition グローバル社会考古学：増補版
2016	都甲潔 先生 味覚・嗅覚センサ研究開発センター長・主幹教授		味と匂いの科学技術
2017	岡村耕二 先生 サイバーセキュリティセンター長・教授		個人と組織のための最先端 サイバーセキュリティ入門 [再開講]
2018	丸山宗利 先生 総合研究博物館・准教授		昆虫学入門 - 多様性を探る - Exploring Insect Biodiversity
2019	三谷泰浩 先生 工学研究院附属アジア防災研究センター長・教授		豪雨災害とその対策 - 平成29年7月九州北部豪雨災害を例に -
2020	竹村俊彦 先生 九州大学応用化学研究所・主幹教授		気候変動と大気汚染の入門

本年度に開講した「気候変動と大気汚染の入門」は、教材開発センターが制作したMOOC講座の第7弾となります。

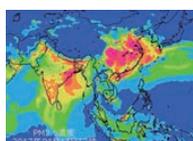


「気候変動と大気汚染の入門」

概要

講師	竹村俊彦 九州大学応用力学研究所・主幹教授
プラットフォーム	Open Learning, Japan JMOOC公認プラットフォーム
開講期間	2021年1月13日(水)～2月10日(水)

教材開発センターが制作した第7弾MOOC講座「気候変動と大気汚染の入門」は、九州大学応用力学研究所 大気海洋環境研究センター 気候変動科学分野 竹村俊彦主幹教授が講義をご担当になり、2021年1月13日～2月10日にわたりJMOOCにおいて開講しました。本講座の目標は、様々な要因による気候変動のしくみを解説し、気候変動と大気汚染の両者を同時に考えることの重要性について学び、科学的に気候変動を理解し、今後の各自の活動に活かせるようになることにありました。



結果

受講者数と修了者数についてですが、受講者数は、614名に達し、うち修了者数は310名でした。修了率は50.5%という、一般的なMOOCでの10%以下という修了率(e.g., Alraimi et al., 2015)と比較して、非常に高い値を示しています。また、受講後のアンケートでは、本講座について「大変満足(63.1%)」「やや満足(31.4%)」を合わせて94.5%と、修了者の大多数の方に良い評価を頂きました。

本講座では、開講期間中から掲示板形式のディスカッションが活発に行われておりましたが、さらに2月20日(土)13:30-15:00に、質疑応答を中心とした反転学習がオンラインで開催され、25名の受講者が参加されました。1時間半の時間枠ギリギリまで質疑応答が続き、森林火災の環境に対する影響などの講義に関連する内容の他にも、例えば、2019年のCOVID-19の流行が二酸化炭素排出量の変化と環境に与えた影響等、環境問題についての多様なトピックが採り上げられました。



代表的研究者 紹介ビデオ制作

■ 本学の研究レベルの高さを広く国内外にアピールするための研究者紹介ビデオの撮影・編集・公開に取り組んでいます。



活動概要

教材開発センター所有のスタジオと、映像教材制作のノウハウを活かし、各部局から推薦いただいた本学を代表する先生方の研究内容とその魅力をわかりやすく伝えるビデオを制作しています。ビデオは九州大学公式YouTubeのほか、特設サイト「先生の森森の映画館」(第一期)と「九大百家」(第二期)で公開しています。また、日本語・英語字幕を付け、九州大学の研究レベルの高さを世界に広くアピールします。

2020年度の取り組み

昨年度から新たに各部局から推薦いただいた先生方のビデオ制作(第二期)を開始しました。ほとんどの先生方の撮影を昨年度末までに終了しており、今年度は編集に注力し広報室と連携して順次公開して参りました。



文学部日本史学

宮中儀礼を対象とした教材開発

文学部が実施したEEP(九州大学・教育の質向上支援プログラム)「文系ディシプリン科目教科書・副教材の開発(人文学教育カリキュラムの充実を目指して)」(期間:平成25~27年度)との連携活動の一つとして、平成26年度から、人文科学研究院坂上康俊教授の研究室メンバーと協働で日本史学(宮中儀礼)に関する副教材の開発を実施しています。

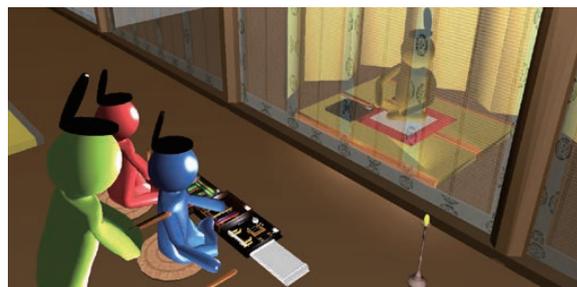


活動組織

坂上 康俊	人文科学研究院 教授
山下 洋平	人文科学研究院 専門研究員
竹井 良介	人文科学府 OB
岡田 義広	教材開発センター長
石 偉	教材開発センター 助教
平山 大貴	システム情報科学府情報学専攻修士2年

活動概要

宮中の儀式の様子を紙の媒体だけで学習するのではなく、3次元CGアニメーションや3Dプリンターで出力された建物のモデルを見ながら学習することで、学習内容をより深く理解でき、学習対象に興味を沸かせることができると考えています。3次元CGアニメーションを表現するために、種々の故実書や論文等から情報を収集し内容の精査を行いながら、その時代の建物の形状モデル作成を行う必要があります。登場人物の動線や振る舞いについてもデータ作成を行う必要があります。当該の教材は、Webコンテンツとして開発し、Web上で順次公開していきます。



2020年度の取り組み

2016年度から開始している平安時代の「除目」とよばれる諸官を任命する3日間に渡る宮中儀礼の様子を3次元CGアニメーションで再現する対話型電子教材の開発に今年度も取り組んでいます。第1日目の儀礼は昨年度完成しています。WebGLという技術による閲覧システムの完成度も上がり、任意のウェブブラウザで閲覧し学習することができます。今年度は、第2日目の儀礼の作成をしています。2014年度~2016年度まで実施した「官奏」とよばれる宮中儀礼よりも登場人物の振る舞いが細かく、それを表すアニメーションデータの作成に注力しています。

研究業績

Ma Chenguang, Srishti Kulshrestha, Shi Wei, Kosuke Kaneko, Akira Haga, Yoshihiro Okada and Ranjan Bose : Integrated Development Frameworks Based on Linked Data for Web- Based Interactive Educational Materials, Int J Comput Softw Eng 2020, 5: 160.



放射線治療のためのセットアップ トレーニング支援システムの開発

医学研究院の先生・学生と共同で、放射線技師が放射線治療を行う際に必要になる患者のセットアップの工程を体験的に学習できる教材を開発しています。実際の放射線治療装置は、治療のスケジュールやランニングコストの問題などから気軽に演習で利用できるものではないため、CG等を利用して、安価でありながら体験的に学習できる教材を開発しています。

研究組織 開発チーム

藤淵 俊王 医学研究院 教授
岡田 義広 教材開発センター長
金子 晃介 教材開発センター協力教員
宮原 侑大 工学部電気情報工学科 4年

研究概要

放射線治療は、がん治療の手法の一つで、外科手術のように患者の体を切開することもなく、また抗がん剤治療のような副作用も少ないことから、注目されている治療の手法となっています。放射線治療では、患者のがん細胞に対して放射線を照射し、がん細胞を破壊します。この際に、他の正常な細胞に放射線が当たらない様に、患者の位置を正確にセットアップする必要があります。本支援システムは、放射線治療の際に、放射線技師が患者の体を適切な位置にセットアップできるように訓練するためのものです。患者の体の位置情報や回転角度は、セットアップ確認用のアプリケーションを通じて確認することができます。体感的にセットアップのトレーニングを行うことで、座学での学習よりも高い学習効果があると考えられています。

2020年度の取り組み

2018年度には、患者の体の傾きを計測するためのスマートフォン・アプリ、セットアップ確認のための表示機能をもつ寝台操作用のペンダントを模倣したスマートフォン・アプリのそれぞれをWebアプリとして開発しました。昨年度は、現実のファントムや寝台の代わりに、患者や寝台を3次元CGモデルとしてスマートフォンのウェブブラウザに表示し、そのスマートフォンが挿入されたVRヘッドセットを装着して見える完全な仮想空間の中で、患者や寝台を操作するVRアプリケーションとして開発を行いました。さらに、今年度は、開発したWebベースVRアプリケーションの機能性と操作性等の向上を図りました。

研究業績

Yuta Miyahara, Kosuke Kaneko, Toshihiro Fujibuchi and Yoshihiro Okada, Web-Based Collaborative VR Training System and Its Log Functionality for Radiation Therapy Device Operation, VENO A 2021 in Proc. of the 15th International Conference on Complex, Intelligent, and Software Intensive Systems (CISIS-2021), pp. 734-746, 2021.

HMD with a tracking device



Hand objects

Patient



歯科治療

歯学部歯学科目を対象とした教材開発

歯学研究院の先生・学生と共同で、治療演習や読影演習が行えるための対話型教材の開発に取り組んでいます。

歯科治療の演習では、義歯を削ったりする必要がありますが、多くの義歯の購入が高額になったり、専用の演習室でなければ演習が行えないといった課題があります。学生が持っているPCで演習が行える教材の開発を進めています。



研究組織 開発チーム

築山 能大	歯学研究院 教授
岡村 和俊	歯学研究院 講師
岡田 義広	教材開発センター長
石 偉	教材開発センター 助教
能美 雅貴	システム情報科学府情報学専攻修士1年

研究概要

当センターの協力教員をお願いしています歯学研究院・築山能大教授のご協力を得て、昨年度より歯学科目対話型演習教材の開発を開始しました。Phantomと呼ばれるハプティックデバイス（フォースフィードバックデバイス）を用いた対話型歯科治療トレーニングVR(VirtualReality)システムを開発しています。システム情報科学府学生の協力を得てシステム開発を実施し、歯学部学生の協力を得てユーザ評価を実施しシステムを改善し、演習講義で活用できるシステムの開発を目指します。また、歯学研究院・岡村和俊講師のご依頼を受け、CT画像やMRI画像の読影演習のためのe-Learning教材の開発も昨年度より開始しました。



2020年度の取り組み

2012年に開発したPhantomを用いた対話型歯科治療トレーニングVRシステムのプロトタイプを基盤として、歯を削る機能を改修し演習で利用できる精度を目指して開発を進めています。また、ウェブブラウザで利用可能なウェブコンテンツとして読影演習コンテンツの開発を進めています。

研究業績

Masaki Nomi and Yoshihiro Okada:
Improvement of Dental Treatment Training System Using a Haptic Device, Proc. of 15th International Conference on Broadband and Wireless Computing, Communication and Applications (BWCCA-2020), Springer (Lecture Notes in Networks and Systems, Vol.159), pp .143-153, Oct. 28-30, 2020.



環境保全行動 学習ゲーム教材

2019年6月より九州大学決断科学大学院プログラムの学生・担当教員と連携して教育用ゲームの開発を実施しています。今回開発している教育用ゲームは、環境問題を扱ったもので、無駄なエネルギー消費を抑える行動の学習と実践により、CO2削減等の環境保全を図るものです。

活動組織

Firouzeh Javadi	持続可能な社会のための 決断科学センター 助教
Reihaneh Morid	大学院工学府
Nuren Abedin	大学院システム情報科学府
池田 大輔	システム情報科学研究所 准教授
岡田 義広	教材開発センター長
石 偉	教材開発センター 助教
山村 光	システム情報科学府

研究概要

無駄なエネルギー消費を抑える環境保全行動の学習と実践は、幼少のうちから身に着けることが重要です。ゲーム性を取り入れた教材の提供により、年少者でも遊びながら環境保全行動を学習できるものと考えられます。決断科学大学院プログラムの学生であるReihanehMoridさん、NurenAbedinさんが中心にアイデアを出し、それをシステム情報科学府の学生である山村光くんが3次元CGを活用したウェブ教材として実装を進めています。評価用プロトタイプの開発の後、ウェブ公開し教育効果等の評価を行い有用性を高めていく予定です。

2020年度の取り組み

月1度の定例ミーティングを行い、ゲーム教材の仕様を決定しました。家での生活における無駄なエネルギー消費を抑えることを目的とするロールプレイ型ゲームとし、3次元CGによるウェブコンテンツとして日本語版と英語版の開発を行いました。以下のURLにて公開しています。

研究業績

Hikaru Yamamura, Reihaneh Morid, Nuren Abedin, Firouzeh Javadi, Daisuke Ikeda, Wei Shi, Yoshihiro Okada : A Development Framework for RP-type Serious Games in a 3D Virtual Environment, VENOA 2020 in Proc. of CISIS-2020, Springer(Advances in Intelligent Systems and Computing, Vol.1194), pp. 166-176, 2020.



その他 教材開発の取り組み

■ 教材開発センターでは、九州大学内外問わず、3次元CG等のICTを活用した対話型電子教材の開発とその支援を積極的に行い、広く利用してもらう取り組みを実施しています。例えば、九州大学サイバーセキュリティセンターと連携した「IoTセキュリティ」教材の開発があります。

九州大学サイバーセキュリティセンター(センター長:岡村耕二教授)が中心となり、インド工科大学デリー校とのJST戦略的国際共同研究プログラム(SICORP) [<https://cs.kyushu-u.ac.jp/sicorp/>]に本センターの教員および協力教員が参画しております。本プログラムのテーマは「"安全なIoTサイバー空間の実現"に向けて」で、本センターは教材開発を担当しています。LinkedDataやWebGLと呼ばれる技術を使ったWebブラウザ上の3次元CG表現された教材です。スマートホームの3次元CG空間でスマートスピーカなどのIoTデバイスを発見し、どのような攻撃と被害があるのかを学習するというものです。また、360°VR画像を使ったWebブラウザ上で学習できる教材の開発も実施しています。

本センターでは共創学部との連携の下、九州大学における教育の質向上支援プログラム(NEEP)の一環として「グループディスカッションの定量的評価AIの開発」を目指し、研究を行っています。本学ではTBL、PBL型授業を通じてアクティブラーナーの育成を推進していますが、中核となるグループディスカッションの評価については、これまで教員による主観的評価や提出物の評点などに依拠する所が多く、客観的かつ定量的な指標による評価が求められてきました。本センターでは最新かつ低コストの収録システムを通じて膨大なディスカッションの実践例を収集し、映像や音声の特徴量をもとにディスカッション時の参加者のパフォーマンスを個別に評価することのできるAIを開発することで、教員によるアクティブラーニングの実践を広くサポートし、学生に対して定量的な指標に基づく公正なフィードバックを届けるシステムを実現したいと考えています。AI開発の進捗について続報をご期待ください。



活動紹介



ICER2020年度 講義動画等の撮影・編集・公開

学生向けの講義や学内関係者向けの講習会、外部講師による講演などを撮影・編集し、依頼者の要望に応じてYouTube、iTunes U(iTunes Podcast)、OCWなどで公開しています。公開された動画はどなたでも視聴することができ、大学の授業を体験することができます。興味がある科目があれば、自分のペースでいつでも学習することができます。

教材開発センターでは、年間を通してさまざまな形態の撮影を行っています。毎週の講義を撮影することで、学生がやむを得ず出席できない場合や復習したい場合、動画を利用して自主的に学習を進めることができるような学習環境の整備を行っています。また、各種講習会を撮影した動画を対象者へ配信することで、特定の実験や業務に従事するために必修となる講習会を効率的に受講することができるような体制づくりにも貢献しています。

講義や講習会そのものだけでなく、講義の内容を学生に分かりやすく伝え履修希望者を募るために、基幹教育科目等のビデオシラバス(科目紹介ビデオ)の制作や、学内の進学者・学外からの入学生向けに新専攻や新コースの紹介用ビデオの制作

も行っています。また、九州大学では「未来創成科学者育成プロジェクト(QFC-SP)」として、グローバルな科学的思考力を持つ人材の育成を目標に、九州・山口の高校生を選抜し、各分野で実践的な教育を行い、課題解決能力をさらに伸ばしていく教育プロジェクトを行っています。教材開発センターもこのプロジェクトに参画しており、復習用の講義ビデオの制作とライブ配信、各種の教育データの分析を担当しています。

2020年度にYouTubeで公開した動画は、限定公開を含め307本(うちライブ配信は34本)です。また、会場・現場へ赴き撮影を行った回数は71回にのぼります。今後もより高品質な動画教材の制作を進めていき、九大の魅力を世界に発信していきたいと思えます。

映像教材制作・公開実績

 = YouTube
  = 公開
 = iTunesU
  = 限定公開

タイトル	講師			その他	備考
講義(前期)					
国際協力とは何か	地球社会統合科学府	●		学内利用	編集・公開
調停技法入門	入江秀晃准教授			学内利用	撮影・編集
日本学「Introduction」	人文社会科学系教務課			学内利用	撮影・編集
講義(後期)					
第1回ビジネス日本語講座(初級編)	就職支援係	●			編集・公開
基幹教育総合科目「キャリア形成基礎」第5回	教育改革推進本部	●		学内利用	公開
日本学「シュヴァイツァー先生」	人文社会科学系教務課			学内利用	撮影・編集
日本学「緒方先生」	人文社会科学系教務課			学内利用	撮影・編集
日本学「渡邊先生」	人文社会科学系教務課			学内利用	撮影・編集
日本学「高城先生」	人文社会科学系教務課			学内利用	撮影・編集
日本学「ヤン先生」	人文社会科学系教務課			学内利用	撮影・編集
最終講義					
「麻痺ウイルス研究」	柳雄介教授	●			編集・公開
「ハウジングの俯瞰とリアリティ」(Zoom Live配信)	菊地成朋教授				撮影・編集・配信
「結晶成長における実験と数値解析の魅力」(Zoom Live配信)	柿本浩一教授	○			撮影・編集・配信
「工学としての材料力学の未来」(Zoom Live配信)	野口博司教授	○			撮影・編集・配信
「流域治水から国土再編へ」(Zoom・YouTube Live配信)	島谷幸宏教授	○			撮影・編集・配信
「ウナギのふるさとをさがして」(Zoom Live配信)	望岡典隆准教授				撮影・編集・配信
特別講義					
JMOOC 竹村俊彦教授	竹村俊彦教授	●			撮影・編集・公開
放送大学用講義撮影(内田誠一教授)	放送大学学園制作部				撮影
鈴木優人 指揮者「はじめてのオーケストラ・スコアリーディング」	共創学部	●			撮影・編集・公開
講習会					
レポートの書き方講座	附属図書館	●		学内利用	撮影・編集・公開
安全管理セミナー「新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために私たちにできること」	眞崎義憲氏	○		学内利用	撮影・編集・公開
安全管理セミナー「新型コロナウイルス感染予防の科学入門編」	矢原徹一名誉教授	○		学内利用	撮影・編集・公開
基幹教育ガイダンス「アクティブ・ラーナーへの道案内」	基幹教育院	●		学内利用	撮影・編集・公開
遺伝子組み換え実験教育訓練	環境安全管理課			学内利用	撮影・編集
障害者雇用に関する研修会	医系学部等事務部			学内利用	撮影・編集
安全衛生セミナー「労働衛生保護具について」	黒木孝一氏	●		学内利用	撮影・編集・公開
九州大学病院職員中途採用者研修	病院臨床教育研修センター	●		学内利用	撮影・編集・公開
グループ学習のために学ぼう：ファシリテーション手法	田中岳・東京工業大学教授	●		学内利用	撮影・編集・公開
安全衛生セミナー「職場の事故防止について」	黒木孝一氏	●		学内利用	撮影・編集・公開

映像教材制作・公開実績

▶ = YouTube ○ = 公開
🎓 = iTunesU ● = 限定公開

タイトル	講師	▶	🎓	その他	備考
講習会					
2020年度放射線取扱者の再教育訓練(英語)	アイソトープ統合安全管理センター	●		学内利用	撮影・編集・公開
ハラスメント研修会	病院総務課研修支援係			学内利用	撮影・編集
FD					
九州大学シラバス・システムについて	教育改革推進本部	●		学内利用	撮影・編集・公開
九州大学教学マネジメント・システムについて	教育改革推進本部	●		学内利用	撮影・編集・公開
講演会					
アジア・オセアニア研究教育機構シンポジウム	アジア・オセアニア研究教育推進係				編集・公開
国際部Asia week	国際部国際戦略課				編集
「2020年度 九州大学総合研究博物館 公開講演会」 緒方一夫館長、岩永省三副館長	九州大学総合研究博物館	●			撮影・配信・編集
説明会					
基幹教育科目 履修説明	基幹教育教務係	○		学内利用	編集・公開
九州大学病院歯科医師臨床研修Bプログラム協力型施設説明会	病院臨床教育研修センター				撮影・編集
OSP企業説明会	産学官連携本部	●			編集・公開
令和3年度入学用 基幹教育ガイダンス動画	基幹教育教務係	●			撮影・編集・公開
スタートアップ説明会	基幹教育教務係	○			編集・公開
E-learning教材					
基幹教育科目「放射線とは何だろうか?」	アイソトープ統合安全管理センター	●		学内利用	撮影・編集・公開
放射線とは何だろうか?第1回「放射線を正しく理解するために」	アイソトープ統合安全管理センター			学内利用	編集
放射線とは何だろうか?第2回「放射線科学史」	アイソトープ統合安全管理センター			学内利用	編集
放射線とは何だろうか?第3回「原子力の基礎」	アイソトープ統合安全管理センター			学内利用	編集
放射線とは何だろうか?第4回「生物学的理解のために1」	アイソトープ統合安全管理センター			学内利用	編集
放射線とは何だろうか?第13回「放射線の医学以外の分野への応用」	アイソトープ統合安全管理センター			学内利用	編集・公開
放射線とはなんだろうか?実習デモ	アイソトープ統合安全管理センター			学内利用	撮影・編集
令和2年度ダイバーシティ推進トップセミナー 「正しい評価を阻む無意識のバイアス—社会心理学の観点から—」	男女共同参画推進室	●		学内利用	編集・公開
放射線とは何だろうか?放射線規制(法令)の歴史	アイソトープ統合安全管理センター	●		学内利用	編集・公開
放射線とは何だろうか?放射線のリスク論とは	アイソトープ統合安全管理センター	●		学内利用	編集・公開
その他					
新生へへの久保総長メッセージ	学務企画課	○			撮影・編集・公開
久保総長ビデオメッセージ(Q-RADeRSポータル画面)	企画部企画課分析係	●			撮影・編集
展望室「庚寅銘大刀」紹介動画(岩永省三教授)	附属図書館			学内利用	撮影・編集
IMIプロモーションビデオ(佐伯修所長)	マス・フォア・インダストリ研究所				撮影・編集
量子理工学科紹介	池田伸夫学科長 他	○			撮影・編集・公開

映像教材制作・公開実績

 = YouTube
  = 公開
 = iTunesU
  = 限定公開

タイトル	講師			その他	備考
その他					
工学部オープンキャンパス動画	工学部	○			撮影・編集・公開
工学部入試説明(寺西教授)	工学部	○			撮影・編集・公開
農学部オープンキャンパス動画(福田農学部長)	農学部	○			撮影・編集・公開
オープンキャンパス久保総長挨拶	入試課	○			撮影・編集・公開
九州大学の紹介	丸野俊一理事				撮影・編集
理学部オープンキャンパス動画、学科コース紹介	齋藤大介教授	○			編集・公開
教育学部、研究室紹介	教育学部	○			編集・公開
「台北医学大学60周年」総長ビデオメッセージ	国際課国際交流係				撮影・編集
IMI「メビウス・カライドサイクル」紹介動画	マス・フォア・インダストリ研究所	○			撮影・編集・公開
次期総長挨拶動画(石橋達朗総長)	入試課	○			撮影・編集・公開
「ベトナム同窓会」総長ビデオメッセージ	国際部国際戦略課				撮影・編集
農学部プロモーションビデオ	農学部 房先生				撮影
石野先生記者会見(ノーベル賞発表を受けて)	広報室				撮影・編集
石橋総長ビデオメッセージ	国際課国際交流係				撮影・編集
AXIES用プロモーションビデオ	教材開発センター				撮影・編集
グローバルサイエンスキャンパス全国受講生研究発表会用動画	学務部学務企画課				編集
石橋総長ビデオメッセージ(SDGs)	井上滋樹教授				撮影・編集
石橋総長ビデオメッセージ(糸島青年会議所)	総務部地域連携課				撮影・編集
久枝理事挨拶動画 (『空飛ぶクルマ』の社会実装における社会的課題解決に向けて)	人社系コモンズ企画運営室				撮影・編集
石橋総長ビデオメッセージ(卓越大学院プログラム学生説明会)	理学部等事務部教務課				撮影・編集
久枝理事ビデオメッセージ(九州大学関西同窓会新年会)	基金課同窓生連携係				撮影・編集
石橋総長ビデオメッセージ(九州大学関西同窓会新年会)	基金課同窓生連携係				撮影・編集
IMI卓越大学院 研究紹介ビデオ	マス・フォア・インダストリ研究所				撮影・編集
石橋総長ビデオメッセージ(Q-RADeRSポータル画面)	企画部企画課分析係		●		撮影・編集
農学部「のり養殖場 見学動画」(ハイビジョンと360度カメラ)	農学研究院 栗原先生				撮影・編集
「九大百家 -The Century of KYUSHU U - 」	広報室、教材開発センター	○			撮影・編集・公開
公開依頼					
Earwig fan designing: biomimetic and evolutionary biology applications	斉藤一哉・芸術工学研究院	○		学内利用	公開
留学生のためのビジネス日本語講座	留学生センター	●		学内利用	編集・公開
大学間交換留学オンライン説明会	国際部留学課	●		学内利用	公開
医学部プロモーションビデオ	医学部	○			公開

映像教材制作・公開実績

 = YouTube
  = 公開
 = iTunesU
  = 限定公開

タイトル	講師			その他	備考
公開依頼					
農学部アニマルサイエンス分野、研究室紹介	農学部	○			公開
文学部オープンキャンパス動画	文学部	○			公開
Kyushu University ITO Campus DRONE MOVIE	施設部施設企画課	○			公開
図書館活用動画	附属図書館事務部	○			公開
農学部オープンキャンパス用動画	入試課	○			公開
理学部オープンキャンパス用動画	入試課	○			公開
文学部オープンキャンパス用動画	入試課	○			公開
医学部オープンキャンパス用動画	入試課	○			公開
2020年度診療用放射線の安全管理研修会	九大病院放射線部	○			公開
歯学部オープンキャンパス用動画	入試課	○			公開
九州大学における合理的配慮について(障害のある学生の支援について)	キャンパスライフ・健康支援センター	○			公開
歯学部長挨拶動画	入試課	○			公開
コーディネイト室動画「基幹教育科目履修説明」	キャンパスライフ・健康支援センター	○			公開
コーディネイト室動画「学内で使えるサポート資源について」	キャンパスライフ・健康支援センター	○			公開
コーディネイト室動画「不眠とその対策について」	キャンパスライフ・健康支援センター	○			公開
排気ガスからエネルギーを生む～ゼロエミッションへの挑戦～	学務部学務企画課	●			編集・公開
金属製錬と環境保護の両立	学務部学務企画課	●			公開
図書館の利用に関する案内	附属図書館事務部	○			公開
色覚の多様性から色彩デザインを考える	学務部学務企画課	●			編集・公開
トレーニング動画	基幹教育院 岸本先生				編集
世界を救うセラミックス	学務部学務企画課	●			編集・公開
外国人留学生向け 大学・入試説明	入試課	○			公開
ビジネス日本語講座(初級編)	学務部キャリア・奨学支援課	●		学内利用	公開
Introduction & Recruitment for International student	入試課	○			公開
歯学部 現役学生による大学生活紹介	入試課	○			公開
共創学部プロモーションビデオ	共創学部課共創学生係	○			公開
(春休み)オーストラリア・モナシュ大学英語研修(オンライン)説明会	国際交流推進室	●		学内利用	編集・公開
オンライン英語研修プログラムの説明会	国際交流推進室	●		学内利用	公開
第8回日本橋サテライトセミナー	学術研究・産学官連携本部	●			編集・公開
共創学部紹介	入試課	○			公開
ジャン・モネCoE九州・第二期キックオフ・シンポジウム	EUセンター	○			公開
2021年度九州大学留学フェア	国際交流推進室	●			公開
【2021九大留学フェア】工学部の短期留学プログラムELEP	国際部留学課海外留学係	●			公開
【2021九大留学フェア】工学部の短期留学プログラムQ2PEC	国際部留学課海外留学係	●			公開

映像教材制作・公開実績

 = YouTube
  = 公開
 = iTunesU
 ● = 限定公開

タイトル	講師			その他	備考
公開依頼					
【2021九大留学フェア】卒業生メッセージ	国際部留学課海外留学係	●			編集・公開
教育学部紹介	人間環境学研究院	○			公開
【2021/3/5 芸工交換留学説明会】留学体験談	グローバル学生交流センター	●		学内利用	公開
令和3年度新入学生向け人間環境学府長挨拶	人文社会科学系事務部教務課	●		学内利用	公開
Live配信					
定例記者会見7月(Zoom Live配信)	広報室				撮影・配信・編集
理系女子のためのキャリア講演会	三浦教授	○			撮影・配信・公開
中村哲先生の想いを繋ぐ会	国際課国際交流係	●			配信・公開
安全の日講習会	環境安全管理課	●			撮影・配信・公開
令和2年度 九州大学 開学記念式典	総務部総務課	○			配信・公開
令和2年度 秋季学位記授与式	学務部学務企画課	○			配信・公開
令和2年度 新入生歓迎式	学務部学務企画課	○			配信・公開
石橋新総長 就任記者会見(Zoom Live配信)	広報室				撮影・編集
数学関連3学会連携企画<特別公開セッション> 「感染症に立ち向かう数理学」	AIMaP事務局	○			撮影・配信・公開
2020年度九州大学大学院工学研究院公開講座 「機械の動き」	機械工学部門 石川准教授	●			配信・公開
LP-GRP中間発表会	工学部分子システムデバイスコース	●			撮影・配信・公開
おかえり「はやぶさ2」ライブ中継	中島健介助教	○			撮影・配信・公開
九州大学エネルギー研究教育機構(Q-PIT) プレナリーセッション	エネルギー研究教育機構	●			撮影・配信・公開
定例記者会見1月(Zoom Live配信)	広報室				撮影・配信・編集
エネルギーウィークライブ配信	エネルギー研究機構	●			撮影・配信・公開
九州大学 光・量子プロセス研究開発センター 開所式	工学部総務課庶務係	●			撮影・配信・公開
定例記者会見2月(Zoom Live配信)	広報室				撮影・配信・編集
LP-GRP最終発表会	工学部分子システムデバイスコース	●			撮影・配信・公開
中村哲医師メモリアルアーカイブ オープニングイベント	九州大学附属図書館	○			撮影・配信・公開

FD講習会 開催

電子教材著作権講習会

講師 岡田義広(教材開発センター長)

オンライン開催

日時 2020年12月25日(金)10:30~12:00

参加者 計**108**名



電子教材開発者向け講習会

講師 岡田義広、大井京、芳賀瑛、石偉 (教材開発センター教員)

オンライン開催

日時 2020年12月25日(金)13:30~15:00

参加者 計**48**名

教材開発支援機材

教材開発センターでは、2D/3D教材開発システムおよび講義収録配信システムを導入しており、利用を希望する教員へ機材の貸し出しを行っています。

2D/3D 教材開発システム

- 360VRカメラ



- ICレコーダー



- デジタル顕微鏡



- 光学式モーションキャプチャー装置



- 3Dスキャナー



- 3Dプリンター



- ハイスピードカメラ



- 視線追尾装置



詳細は、次のURLよりご覧ください：教材開発支援機材利用申込みフォーム
https://www.icer.kyushu-u.ac.jp/lectcast_use_apply



学会・イベント等

学会・シンポジウム等

2020年9月8日(火)~11月2日(月)

日本心理学会第84回大会

参加 教員1名(大井京)

2020年9月17日(木)~9月19日(土)

日本認知科学会第37回大会

参加 教員1名(大井京)

2020年10月28日(水)~10月30日(金)

The 15th Int. Conf. on Broadband and Wireless Computing, Communication and Applications(BWCCA-2020)

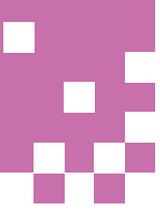
参加および発表 オンライン 教員1名(岡田義広)

2020年12月9日(水)~12月11日(金)

大学ICT推進協議会2020年度年次大会

ブース出展 オンライン 教員4名(岡田義広、大井京、芳賀瑛、石偉)
テクニカルスタッフ2名(田中啓太、竹原憲一郎)





2021年2月25日(木)~2月27日(土)

The 9th Int. Conf. on Emerging Internet, Data&Web Technologies(EIDWT-2021)

参加および発表 オンライン 教員1名(石偉)

総会・委員会

2020年7月15日(水)

大学学習資源コンソーシアム(CLR)2020年度総会

出席 オンライン 教員1名(岡田義広)



刊行物



ICER Newsletter

九州大学附属図書館教材開発センターだより



第44号 2020年4月発行



第45号 2020年6月発行



第46号 2020年8月発行



第47号 2020年10月発行



第48号 2020年12月発行



第49号 2021年2月発行

詳細は、次のURLよりご覧ください <https://www.icer.kyushu-u.ac.jp/pr>



ICER 2020

九州大学附属図書館付設教材開発センター年報
発行：九州大学附属図書館付設教材開発センター